

# 第5回西方音楽祭 決定!

(企業メセナへは申請中。認可されましたら、ご寄付もよろしく願いいたします。税制上の優遇措置があります。)

## 🌸 オープニングコンサート「春の音楽会」

◆3月28日(土) 11:00~12:00 & 14:30~15:30 2回公演

0歳児から家族で楽しめるコンサート。オカリナ、チェンバロ、ピアノソロ、ピアノ連弾、フォルテピアノの演奏をお楽しみいただきます。

山村多恵子(オカリナ)、成岡明子(ピアノ&チェンバロ)、朝日紘世&飯沼杏実(ピアノ連弾)、中新井紀子(フォルテピアノ)

スペシャルゲスト朝日紘世さんと飯沼杏実さんは、現在宇都宮大学4年生。2017年PTNAのコンクールで連弾部門第2位を受賞なさいました。ピアノ連弾の楽しさ、面白さをご堪能下さい。

## 🌸 リレーコンサート

~ニューヨークスタインウェイB、フォルテピアノ、チェンバロ、小型パイプオルガンを弾いてみよう!~

◆3月29日(日) 13:00~ 1人1枠10分

## 🌸 お花見わらべうた

4月4日(土) 11:00~12:00 1回公演

春のわらべうたを親子で遊びます。合間に、フォルテピアノ、チェンバロ、ピアノ、オカリナの音楽にも耳を澄まします。

中新井紀子(わらべうた&演奏)

以下メインコンサート4つは、ご出演いただく皆様に、コメントをいただきました。

## 🌸 音と身体~その拓かれた空間~

◆4月5日(日) 14:30~16:30

ピアノによる現代音楽とモダンダンス J.ケージ、吉松隆、西村朗、木下大輔の作品を演奏予定

蛭多令子(ピアノ) 妻木律子(ダンス)

「ダンスをしているときの音楽は、友であり、規律であり、環境であり、心情でもあります。蛭多さんの現代音楽の世界に身体がどう共鳴できるか、未知が溢れるひと時を創り出したいです。」

妻木 律子

妻木律子：ダンサー・be offディレクター。宇都宮市生まれ。生家の大谷石蔵にてうす暗い空間の〈遊び場〉を楽しんで育つ。正田千鶴氏のもとダンス活動を開始する。ギリシャ、アメリカ、カナダ、韓国、ドイツ、ラトビアなど海外公演を行う。1996年より宇都宮に舞い戻り、2004年に南宇都宮にある大谷石蔵を利用したユニークなスタジオbe offを設立。「拓かれたスタジオ」を目指すbe offの運営、プロデュースを主軸に、保育園・小学校・美術館等でもワークショップを行い、地域創造事業として「からだを養う場作り」を有機的に展開する。栃木県文化協会奨励賞受賞、(一社)現代舞踊協会奨励賞、ベストダンサー賞受賞。文化庁派遣在外研修員として、マース・カニンガムスタジオにてダンサー研修(1990年から1991年)。

「西方音楽館で妻木律子さんと共演させていただくのは、2003年秋以来およそ16年ぶりとなります。中新井紀子さんのユニークな企画のもと、蔵の中で、特殊奏法を用いたピアノ曲に乗せて展開された妻木さんのダンスは強い存在感を放っていました。今回、長い年月を経て3人が再会できますことを感謝しています。新装なった西方音楽館で、現代のピアノ作品(J.ケージ、西村朗、吉松隆、木下大輔ほか)がどのように響き、モダンダンスと共存するのか。時間と空間を皆様とともに楽しみたいと思います。」

蛭多 令子

蛭多令子：東京藝術大学音楽学部器楽科ピアノ専攻、同大学院修士課程、博士課程を経て、1989年日本のピアノ作品の研究と演奏により、同大学より博士号を得る。現在、埼玉大学教育学部および東京学芸大学大学院連合学校の教授を務める。85年第1回日本現代音楽ピアノコンクール優勝。96年文化庁芸術祭優秀賞を受賞。2013年CDおよび解説集『J.S.バッハ 平均律クラヴィア曲集 分析・演奏』を刊行。間宮芳生編曲『ベートーヴェン 交響曲 第5番[2台6手のための]』(全音楽譜出版社、2017年発行)の編集に協力した

## 🌸 渡邊響子&南部由貴デュオコンサート~ウィーンの香り~

◆4月11日(土) 14:30~16:30

シューベルトのヴァイオリンソナタA-Dur / シュトラウスのおもしろき青きドナウやクライスラーの小品集 他

渡邊響子(ヴァイオリン) 南部由貴(ピアノ)

「ウィーン国立音楽大学と同大学院を共に最優秀の成績で卒業した、ヴァイオリンの渡邊響子とピアノの南部由貴。イタリアで行われたトレビエゾ国際音楽コンクールでは、2人のデュオで室内楽部門と現代音楽部門の2部門で1位を受賞。ウィーンやパリ、日本各地にて数々のコンサートに出演している。西洋の古典から現代音楽、邦人の作品まで幅広いジャンルの曲をレパートリーとしている。中でも得意とするオーストリアの作曲家の作品を、今回のコンサートでは演奏いたします。ウィーン仕込みのヴァイオリンとピアノの響きをどうぞお楽しみください。」

渡邊響子

渡邊響子：3歳より、才能教育スズキメソッドにてヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科卒業。桐朋学園大学音楽学部を経て、ウィーン国立音楽大学、同大学院修士課程を共に最優秀の成績で終了。国内の主要コンクールに加え、第8回トレビエゾ国際音楽コンクール室内楽部門、現代音楽部門において第1位(イタリア)、第1回ライジングスターズグランプリ国際音楽コンクールにて奨励賞を受賞(ベルリン)など海外でも高い評価を受けている。

南部由貴：桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部卒業。同大学研究科を経て渡欧。ウィーン国立音楽大学ピアノ室内楽科を最優秀の成績で、同大学院修士課程を審査員満場一致の最優秀で修了。トレビエゾ国際音楽コンクール(伊)室内楽部門・現代音楽部門において第1位、ルーマニア国際音楽コンクールピアノ部門第2位など、国内外のコンクールでの受賞多数。ウィーンを始め、パリ、ストックホルム、台湾などにて演奏。

## 🌸 国際古楽コンクール<山梨>入賞記念コンサート

◆4月18日(土) 14:30~16:30

「バロック時代のドイツとフランスの作品を集めて」

フィリップ・フリードリヒ・ベテッカー(1607-1683):ヴァイオリンと通奏低音のためのソナタ 二短調 / アルマン=ルイ・クープラン(1727-1789):〈勇敢〉、〈悲嘆〉(《クラヴサン曲集》より) 他

出口実祈(バロックヴァイオリン) 中川岳(チェンバロ)

「この度西方音楽館で演奏させていただけることになり、大変嬉しく思っています。今回の演奏会では私が最近特に強く興味を持っている2つの様式、17世紀後半のドイツ音楽と18世紀のフランス音楽を取り上げます。前者は形式にとらわれない自由な発想から生み出される描写力豊かな音楽、後者は華やかさと繊細さが共存した気品溢れる音楽です。これらの作品の魅力を会場でみなさんと共有できるのを楽しみにしています。」

出口 実祈

出口実祈：3歳よりヴァイオリンを始める。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学ヴァイオリン専攻を卒業。大学在学中にバロック・ヴァイオリンを始め、東京藝術大学大学院古楽科を経て現在はフランス・リヨン国立高等音楽院古楽科修士課程にて研鑽を積んでいる。第32回国際古楽コンクール(山梨)旋律楽器部門最高位(第2位)を受賞。

「私がバロック音楽に傾倒して早くも15年、チェンバロを弾き始めて7年になりました。バロック時代の作曲家の音楽的思考の深さ、またチェンバロという楽器の持つ表現力の豊かさには、年々感嘆の気持ちを深めています。来年の若草の美しい季節に西方音楽館で皆さまと共にひとときを過ごせましたことを楽しみにしています。」

中川 岳

中川 岳：1993年三重県生まれ。4歳よりピアノを始める。バロック音楽への強い関心から独学でチェンバロ、クラヴィコードを始め、2014年東京大学在学中に第27回国際古楽コンクール(山梨)で鍵盤楽器部門第1位(チェンバロ)を受賞。審査員のグレン・ウィルソン氏より賞賛を得て、2016年夏より10ヶ月間、ヴェルツブルク音楽大学(ドイツ)にて同教授にチェンバロを師事。ナクソスよりソロCD『テレマン：6つの序曲集』をリリース。